

中野区立 武蔵台小学校・上鷺宮小学校 家政大生と5年生が学校田で稲刈り！ 11月には小学校で足踏み脱穀、草鞋づくりに挑戦



午前中の上鷺宮小学校の記念撮影。大騒ぎの稲刈り後田んぼに座ってポーズ！



武蔵台小学校では稲刈りの後、3クラスに分かれ学生がお米の講義。子供達に分り易く説明する難しさを実感！

○学生が5年生に米作りを伝える「食育の循環」3年目の挑戦！○

「大学は美味しい！！フェア」が終了した翌日、学生達は中野区の小学校にいました。3年前より「食育の循環」として新潟で学んだ米作りを都会の子供達に伝える活動をしています。一過性の農業体験にとどまらずに農業のすばらしさ、お米の大切さを小学生に伝えることで食育の循環が始まります。

学生が5年生と6月に田植えた品種は「春陽」という新潟生まれの新形質米。見事に実り豊かな稲穂になりました。稲刈り前に先生から「鎌は危険なのでハサミで刈取りをしたい。」と相談されました。しかし、学生から稲を刈取る感触を5年生に味わって欲しいとの意見で、学生がマンツーマンで稲刈り指導することで、鎌で刈ることになりました。左手で稲を握り締めて右手の鎌で刈取る感触。これは、言葉や本では伝えられない都会にいながら「本物の農業体験」です。

刈取った稲は束ねて教室で「はざかけ」をして乾燥させます。お昼は上鷺宮小学校で5年生と一緒に給食を大騒ぎで食べました。最近の給食は美味しくて残渣はまったくなし。しかし、両校共に食物アレルギー児童がいて別メニューを食べていることを気にする学生たちでした。

この活動を通して、学生たちが食育への実践力をつけ社会に巣立つことを願います。



上鷺宮小の田んぼは元花壇。田んぼに入らず手を伸ばして稲刈りを。奇妙光景な都会の稲刈り。



武蔵台小学校の田んぼで本格的な稲刈り。しかし、人数が多すぎ最後の3人稲が足りなくてゴメン！



台風の影響で田んぼがドロドロ。指導する学生は都会の女性。パンプスが無残に泥だらけ…。



校長先生から自校方式の給食調理室の説明を受ける。学校栄養士を目指す学生もいて興味津々。



【 問い合わせ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユウ) 】

TEL 0258-66-0446 FAX 0258-66-0447

HP <http://www.eco-rice.jp/> e-mail eco-net@nekonet.ne.jp

エコ・ライス新潟のHPリニューアル 学生BLOGも大好評